

みんなく映画会

「明日に向かって曳け」

——石川県輪島市皆月山王祭の現在」

2021 年 4 月 24 日（土） 13：00—16：30

- ・ 国立民族学博物館 講堂
- ・ オンライン（ライブ配信）

1. 開演挨拶：吉田 憲司（国立民族学博物館 館長）

2. 司会：日高 真吾（国立民族学博物館 教授）

3. 解説：川村 清志（国立歴史民俗博物館 准教授）

4. 作品上映

<休憩>

5. ディスカッション

川村 清志

日高 真吾

みんなく映画会「明日に向かって曳け」関係資料

皆月山王祭りは、石川県の輪島市門前町七浦地区^{しつら}皆月^{みなつき}の夏祭りである。祭りは毎年、8月10、11日に行われる。青年会が中心となって船形の曳山を引き、区長や組親、神主が加わる神輿の行列があとに続く。200世帯ほどの村としては、大変賑やかで勇壮な祭りであった。

しかし、現在、この山王祭りは存続の危機に瀕している。地区の過疎化と高齢化に歯止めはかからず、世帯数は100軒をきった。かつて祭りの準備のために駆け回っていた子供たちの姿を見ることもなくなった。曳山を担っていた青年会員も、村の中に3名しか残っていない。

それでも祭りを誇りとする青年会員たちは、わずかな休日を利用して村に戻り、祭りの準備や運行に携わっている。この映像では、青年会員の活動を中心に、岐路に立つ祭りの現在を映像化していく。祭りの当日だけでなく、その計画段階から準備作業、そして後片付けといった祭りの舞台裏とそこに関与する人々の姿を映像化し、彼らの祭りへの思いを描き出すことにとめた。

本作品は2014（平成26）年から約2年間にわたる撮影調査の末に完成した。奇しくも最初の年は、台風が本州を縦断するとの予想を受けて、曳山と神輿の運行を中止するという決定が下された年となった。明治以来の皆月の歴史の中で、第二次世界大戦中でさえ途絶えることのなかった運行の中止を、村の人たちは選択せざるを得なかったのである。

この出来事を起点として村の内外の青年会員やそのOBたちは、自らの祭りに対する思いを吐露し、祭りへの関わり方についても考え直す者が現れていく。映像では、2015（平成27）年の祭りに関わる行事の様子を中心に紹介し、青年会員たちの祭りへのひたむきな思いを映像化していった。自分たちにとって祭りとは何か、故郷との距離はどうあるべきなのか。そのような問いかけのなかで、幼い頃からの仲間たちとの触れ合いの意味を、彼らは模索し続けている。

なお本作品は、ナレーションや題字、音楽などで、皆月青年会の全面的な協力をえることができた。題字は青年会の元会長に依頼し、ナレーションは当時の会長に吹きこんでもらった。

その意味では、地元との協働制作としての映像民俗誌^{ビジュアル・エスノグラフィー}という側面をもっている。

製作・著作／大学共同利用機関法人 人間文化機構 国立歴史民俗博物館

2016年／日本／カラー／16:9／102分

監督・制作・撮影／川村清志

制作協力／内田順子、葉山茂、小谷奉之、升本一理、皆月日吉神社、皆月山王祭運営委員会、皆月青年会、皆月山王権現太鼓保存会

題字／島本真吾

民俗研究映像リスト一覧（国立歴史民俗博物館）

制作年度	題名	制作担当者	規格
昭和63年度	芋くらべ祭の村ー近江中山民俗誌ー	上野和男・岩本通弥・橋本裕之	カラー・日本語・100分
昭和64年度	鹿島様の村ー秋田県湯沢市岩崎民俗誌ー	岩井宏實	カラー・日本語・59分
平成2年度	椎葉民俗音楽誌・1990	小島美子	カラー・日本語・120分
平成3年度	都市に生きる人々ー金沢七連区民俗誌(Ⅰ)ー	小林忠雄・菅豊	カラー・日本語・70分
	技術を語るー金沢七連区民俗誌(Ⅱ)ー		カラー・日本語・45分
平成4年度	黒島民俗誌ー島譜のなかの神々ー	篠原徹・菅豊	カラー・日本語・60分
	黒島民俗誌ー牛と海の賦ー		カラー・日本語・60分
平成5年度	景観の民俗誌 東のムラ・西のムラ	福田アジオ・篠原徹・菅豊	カラー・日本語・各58分
平成6年度	観光と民俗文化ー遠野民俗誌94/95ー	川森博司	カラー・日本語・45分
	民俗文化の自己表現ー遠野民俗誌94/95ー		カラー・日本語・45分
	遠野の語りべたち		カラー・日本語・29分
平成7年度	沖縄・糸満の門中行事ー神年頭と門開きー	比嘉政夫	カラー・日本語・110分
平成8年度	芸北神楽民俗誌 第1部 伝承	新谷尚紀	カラー・日本語・45分
	芸北神楽民俗誌 第2部 創造		カラー・日本語・48分
	芸北神楽民俗誌 第3部 花		カラー・日本語・29分
平成9年度	風の盆ふいーりんぐー越中八尾マチ場民俗誌ー	小林忠雄	カラー・日本語・90分
平成10年度	大柳生民俗誌 第1部 宮座と長老	新谷尚紀・関沢まゆみ	カラー・日本語・70分
	大柳生民俗誌 第2部 両墓制と盆行事		カラー・日本語・36分
	大柳生民俗誌 第3部 村境の勧請縄		カラー・日本語・16分
平成11年度	沖縄の焼物ー伝統の現在	松井健・篠原徹	カラー・日本語・90分
平成12年度	風流のまつり 長崎くんち	福原敏男・久留島浩・植木行宣	カラー・日本語・93分
平成13年度	金物の町・三条民俗誌	朝岡康二・内田順子	カラー・日本語・90分
平成14年度	物部の民俗といざなぎ流御祈祷	松尾恒一・常光徹	カラー・日本語・83分
平成15年度	出雲の神々とまつり 第一部 美保神社	関沢まゆみ・新谷尚紀	カラー・日本語・52分
	出雲の神々とまつり 第二部 佐太神社		カラー・日本語・45分
	出雲の神々とまつり 第三部 荒神祭り		カラー・日本語・15分
平成16年度	現代の葬送儀礼	山田慎也	
	地域社会の変容と葬祭業		
	ー長野県飯田下伊那地方		カラー・日本語・45分
	村落における公共施設での葬儀		
	ー長野県下條村宮嶋家		カラー・日本語・45分
	都市近郊における斎場での葬儀		
	ー長野県飯田市佐々木家		カラー・日本語・45分
	葬儀用品問屋と情報		カラー・日本語・45分

制作年度	題名	制作担当者	規格
平成17年度	AINU Past and Present マンローのフィルムから見えてくるもの	内田順子	カラー・日本語・102分
平成18年度	伝統鴨猟と人々の関わりー加賀市片野鴨池の坂網猟ー ー加賀市片野鴨池の坂網猟ー	安室知	カラー・日本語・37分
平成19年度	興福寺 春日大社ー神仏習合の祭儀と支え人々ー	松尾恒一	カラー・日本語・71分
	薬師寺 花会式ー行法と支える人々ー		カラー・日本語・71分
平成20年度	筆記の近代誌ー万年筆をめぐる人びとー〔本編〕	小池淳一	カラー・日本語・52分
	筆記の近代誌ー万年筆をめぐる人々ー〔列伝篇〕		カラー・日本語・99分
平成21年度	平成の酒造り〔製造編〕	青木隆浩	カラー・日本語・88分
	平成の酒造り〔継承・革新編〕		カラー・日本語・88分
平成22年度	アイヌ文化の伝承ー平取2010	内田順子	カラー・日本語・40分
	アイヌ文化の伝承ー白老2010		カラー・日本語・40分
平成23年度	比婆荒神神楽ー地域と信仰ー	松尾恒一	カラー・日本語・69分
平成24年度	石を切るー花崗岩採掘の伝統と革新ー〔本編〕	松田睦彦	カラー・日本語・69分
	石を切るー花崗岩採掘の伝統と革新ー〔技術編〕		カラー・日本語・51分
	石を切るー花崗岩採掘の伝統と革新ー 〔インタビュー編〕		カラー・日本語・59分
平成25年度	盆行事とその地域差ー盆棚に注目してー	関沢まゆみ	カラー・日本語・50分
	土葬から火葬へー両墓制の終焉ー		カラー・日本語・28分
	甕島の盆行事		カラー・日本語・20分
平成26年度	屋久島の森に眠る人々の記憶	柴崎茂光	カラー・日本語・80分
平成28年度	明日に向かって曳けー石川県輪島市皆月山王祭の現在	川村清志	カラー・日本語・102分
平成29年度	モノ語る人びとー津波被災地・気仙沼からー	葉山 茂	カラー 日本語 63分
平成30年度	二五穴 ーこの水はどこへ行くのか ー水と米をめぐる人びとの過去・現在・未来ー	西谷大 島立理子	カラー 日本語 57分
平成31年度	からむしのこえ	分藤大翼	カラー 日本語 91分